

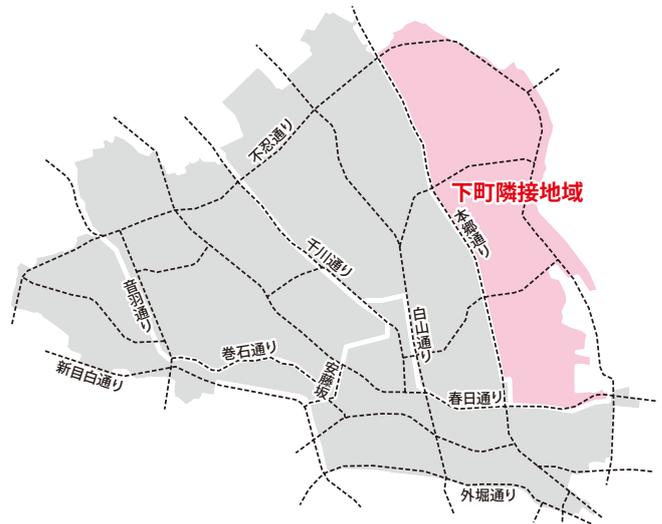
## 5-2 下町隣接地域

### (1) まちの現況と課題

#### 1) 広域からの来訪者にも対応した地域拠点の形成

○根津駅・千駄木駅周辺においては、地域住民のコミュニティの形成や高度な伝統的技術の保存・継承を目的とした、不忍通りふれあい館が地域の拠点としての役割を高めています。一方、日常生活に資する商業・サービス施設の集積は必ずしも十分ではなく、また、広域からの来訪者が多く見られることから、日常生活や来訪者にも対応した施設の集積を進めることが望まれます。

○根津駅周辺と千駄木駅周辺は、それぞれ日常的な生活空間に特徴があり賑わっていますが、より魅力的なまちとしていくためには相互に連携するとともに、生活の場と広域からの来訪の場との調和を図ることが必要です。



- 湯島4丁目
- 本郷7丁目
- 弥生1～2丁目
- 根津1～2丁目
- 千駄木1～5丁目
- 向丘2丁目
- 本駒込3～5丁目

#### 2) 風情を生かした住宅地の形成

○根津一・二丁目、千駄木一～五丁目及び向丘二丁目の一部地区の周辺は、古くから形成されている木造住宅の密集地域の広がる地域であり、細街路\*や行き止まり道路が多く、住環境や防災面で改善が必要です。

○根津駅・千駄木駅周辺の住宅地は、下町風情ある市街地が広がっており、このような生活空間を生かしながら、住環境や防災面の改善を進めることが望まれます。



地域拠点の根津駅周辺



地域拠点の千駄木駅周辺

### 3) 歴史・文化を生かした地域のまちづくり

- 江戸時代から続く町割りや、根津神社や吉祥寺など寺社が多く分布し、落ち着いた伝統的な雰囲気を持つまち並みと、東京大学や旧岩崎邸庭園など歴史・文化的資源が独特の雰囲気を生み出していることが特徴となっています。今後はこれらの魅力となる資源を、地域のまちづくりの中で生かしていくことが望まれます。

## (2) 将来の姿

- 下町隣接地域全体の将来の姿は、『根津・千駄木界隈の路地や本駒込界隈に多い寺など個性ある風景や資源が生かされた、低層から中層の住宅市街地を基本としたまち』とし、拠点や特徴となる地区などについての将来の姿を、次のように設定します。

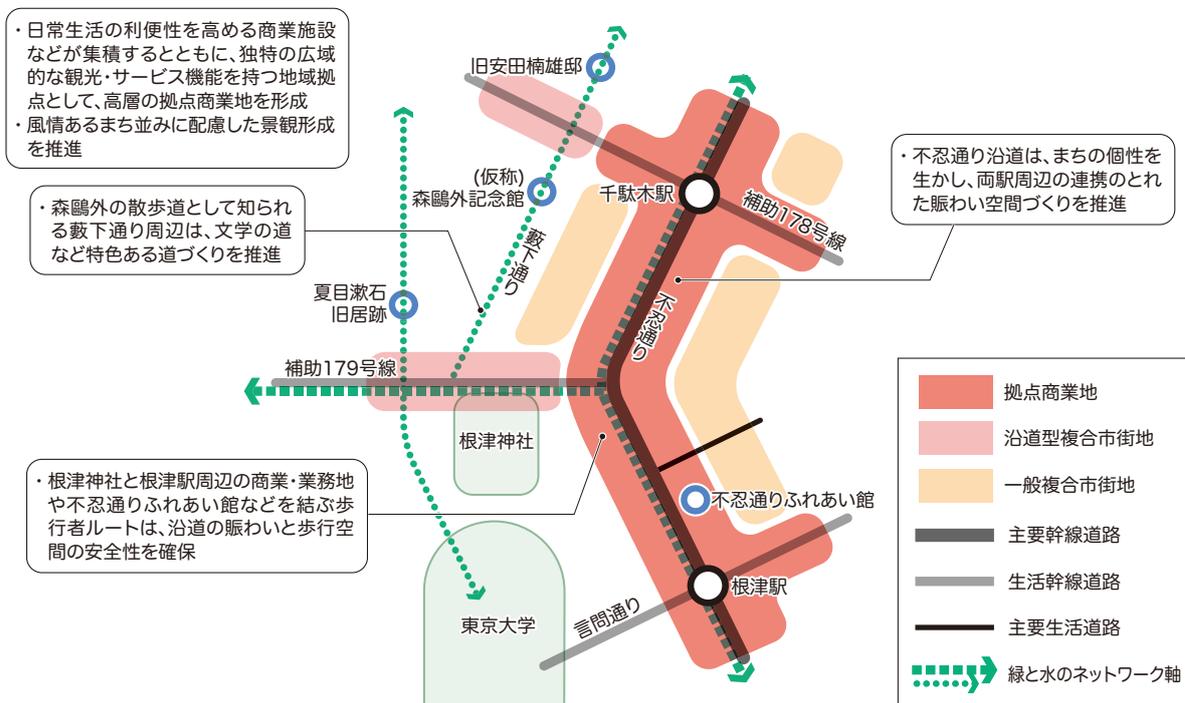
- 根津駅・千駄木駅周辺は、風情あるまち並みが大きな魅力となり多くの来訪者と地域の買い物客とが一体となって賑わうまち
- 春日通り、本郷通り、不忍通りをはじめとする主要幹線道路や生活幹線道路沿道は、活力ある都市活動が行われるとともに、まち並みは統一し沿道緑化が進められ美しい道路景観が形成されているまち
- 主要幹線道路や生活幹線道路の後背地は、良好な低中層の住宅市街地が広がり、東京大学キャンパスや根津神社などまとまった緑が市街地に潤いを与えているまち
- 根津一・二丁目、千駄木一～五丁目及び向丘二丁目を中心に防災まちづくりが進み、生活道路など身近な基盤整備が進むまち
- 千駄木小学校前通り、根津・千駄木の路地のある界隈、根津神社周辺、藪下通りなどの空間は、地域特性や歴史を生かし特色ある景観形成が進められているまち

## (3) まちづくり方針

### 1) 拠点のまちづくり

- 根津駅及び千駄木駅周辺は、日常生活の利便性を高める商業施設などが集積するとともに、独特の広域的な観光・サービス機能を持つ地域拠点として、高層の拠点商業地を形成します。また、根津駅周辺から千駄木駅周辺までの不忍通り沿道は、まちの個性を生かし、両駅周辺の連携のとれた賑わい空間づくりを進めます。

図5-4 根津駅・千駄木駅周辺のまちづくり方針図



## 2) 主要幹線道路や生活幹線道路沿道のまちづくり

- 春日通り北側沿道は、広域的な活力ある都市活動を支えるとともに、商業・業務施設が集積する高層の都心複合市街地を形成します。同様に、本郷通りと不忍通り沿道は、高層の沿道型複合市街地を形成します。
- 補助93号線、補助178号線、補助179号線沿道は、活力ある都市活動を支えるとともに、商業・業務施設が集積する中高層の沿道型複合市街地を形成します。
- 補助180号線沿道は、住宅と日常生活の利便性を高める商業施設が複合する環境を生かした、低中層の沿道型複合市街地を形成します。また、言問通り沿道は東京大学キャンパスの環境を生かした、緑のまとまりが波及する低中層の住宅市街地を形成します。
- 春日通り、本郷通り、不忍通り及び補助93号線は、延焼遮断帯<sup>\*</sup>を形成します。



下町風情あるまち並み（根津）



千駄木ふれあいの杜

### 3) 地区のまちづくり

#### ① 湯島、本郷周辺

- 湯島四丁目は、東京大学キャンパスと旧岩崎邸庭園に挟まれた環境を生かした、良好な低中層の住宅市街地を形成します。
- 東京大学の機能更新にあたっては、周辺地域の住環境の向上につながる貢献を誘導します。

#### ② 弥生周辺

- 弥生一・二丁目は、東京大学キャンパスと根津神社に挟まれた環境を生かした、良好な低中層の住宅市街地を形成します。

#### ③ 根津、千駄木、向丘周辺

- 根津、千駄木及び向丘二丁目の一部地区は、不忍通りと本郷通りの後背地に、木造住宅が密集した状況になっていることから、細街路\*拡幅整備事業や建築物の耐震化・不燃化などにより、住環境の改善や住宅の防災性の向上を図り、良好な低中層の住宅市街地を形成します。このうち不忍通りの後背地の一部は、住宅と日常的な商業施設が共存する、良好な低中層の一般複合市街地を形成します。

#### ④ 本駒込周辺

- 本駒込三～五丁目は、吉祥寺や富士神社など寺社が点在する住宅中心の市街地が広がる環境を生かして、個別の建替えに合わせた細街路整備などを進め、良好な低中層の住宅市街地を形成します。このうち不忍通りの北側後背地の一部は、住宅と日常的な商業施設が共存する、良好な低中層の一般複合市街地を形成します。

## 4) 地域の魅力を生かすまちづくり

### ① 広がりのある魅力の空間づくり

- 根津駅及び千駄木駅周辺は、台東区と隣接した地域特性なども踏まえ、風情あるまち並みに配慮した景観形成を進めます。このうち特に根津二丁目の住宅地は、江戸時代から継承された町割りを大切に、路地や植木、格子戸などによって醸し出される下町風情あるまち並みを形成します。また根津神社周辺は根津神社と地域とのつながりに配慮し、荘厳で緑豊かな根津神社のイメージを生かしたまち並みを形成します。
- 本郷通り沿道は、吉祥寺をはじめ、通りの後背地に広がる多くの寺院群を中心とした寺町の景観に配慮して、落ち着いた雰囲気のあるまち並みを形成します。
- 不忍通りや本郷通り沿道などの商店街は、地域住民の日常生活と密着した、賑わいのある商業空間を形成します。

### ② 回遊性を高める魅力のネットワークづくり

- 地域内には、国指定の文化財をもつ根津神社や、かつて前田家の武家屋敷跡地であり赤レンガと緑に囲まれた東京大学キャンパス、そして、江戸の明暦の大火後に移転してきた吉祥寺など、長い歴史を積み重ね、市街地に潤いを与え続けている資源が多くあります。このため、こうした資源を緑と水のネットワーク軸で結び、軸上の道路や宅地等において連続的な緑化を進めます。
- 隣祥院の春日局に由来する春日通り、日光御成街道として沿道に今なお多くの歴史・文化的資源をもつ本郷通り、文京区を縁取る不忍通りなど、地域においてシンボリックな通りとなる道路については、沿道の緑化や良好なまち並み景観の形成などを進めます。
- 根津神社は、祭礼などに多くの人を訪れます。このため、神社と根津駅周辺の商業・業務地や不忍通りふれあい館などを結ぶ歩行者ルートは、祭りのときの舞台となることにも配慮しつつ、沿道の賑わいと歩行空間の安全性の確保に努めます。また、森鷗外の散歩道として知られる藪下通り周辺は、界隈を縁取る崖線に沿って道があり、その地形を生かして、文学の道など特色ある道づくりを進めます。
- 千駄木三・四・五丁目地区は、コミュニティゾーンとして整備されています。今後は、弥生・根津・向丘周辺一帯などを対象に、歩行者等の安全性や快適性を重視した、コミュニティ道路\*の整備について検討します。

### ③ 魅力を生かす身近なまちづくり

- 地域内には、地域が主体となって取り組む大きなイベントとして、根津神社を会場にして開催される「つつじまつり」などがあります。また、文の京（ふみのみやこ）ロード・サポート\*に基づく活動団体によって、東京大学農学部周辺の道路を対象に美化活動が進められています。こうしたイベントや活動などを通じて、魅力を生かす身近なまちづくりをさらに進めます。

図5-5 下町隣接地域のまちづくり方針図

